

町田市街づくりアドバイザー登録者名簿

登録番号 (24)

個人・法人

ふりがな さの ゆうじ
氏名 佐野 雄二

登録年月日 2006年6月8日

対応可能な分野

- 都市計画一般 都市再開発等 建築設計
- その他(景観まちづくり)

アドバイザー登録後の街づくりの実績 ※登録更新時に記載

実務

- ・町田市都市づくりのマスタープラン策定検討(2020~2021年度)
- ・町田市住みよい街づくり条例改定調査検討(2020~2021年度)
- ・世田谷区風景づくり計画に基づく界わい形成地区指定に向けた検討(2018~2021年度)
- ・相模原市景観計画に基づく景観形成重点地区指定に向けた検討(2016~2019年度)

論文等

- ・「景観まちづくり最前線」学芸出版社、2009年(共著)
- ・「景観法を活かす」学芸出版社、2004年(共著)

資格

- ・一級建築士、認定都市プランナー(景観・都市デザイン)、博士(工学)

その他

- ・「町田市景観づくり市民サポーター制度」コーディネーター(第1期、第2期)
- ・(一財)日本建築センター主催技術セミナー「建築・都市計画シリーズ/基礎Ⅱコース(景観まちづくり)」

講師

資格

博士(工学)、一級建築士

【最近10年間の主な活動内容】（業績または活動内容）

○景観まちづくり

- ・ 町田市内のまちづくり団体「日曜の会」において「景観法を活かした町田市のまちづくり」と題して講演（平成17年9月）
- ・ 町田市都市計画課職員の方々に景観法の概要および町田市における景観施策の展開等について発表。併せて意見交換も行う。（平成18年5月）
- ・ 都市再生機構による景観形成手法に関する調査において、一般市民へのWebアンケートや現地アンケート調査業務を担当（平成16～17年度）
- ・ 隅田川沿川の景観形成に関する基礎調査実施（平成17年度）
- ・ 「世田谷区国分寺崖線保全整備条例」の検討調査（平成15～16年度）

枠内に記入して下さい。別紙は無効といたします。

【自己PR】

- ・ 町並み景観については、東京都立大学在学時に町並み景観をテーマに研究を開始して以来、これまで活動を継続しています。平成14年6月には学位（博士（工学））を取得しています。
題名「伝統的様式を継承した町並み景観の形成過程とデザイン誘導に関する研究」
- ・ 平成16年に制定された「景観法」の活用方法について具体的に解説した書籍「景観法を活かす（学芸出版社）」では共同で執筆を行っています。また他の幾つかの景観に関連する書籍において執筆を行うなど、景観まちづくりの啓発活動も行っています。

その他の著書

- ・ 「町並み保全型まちづくり（まちづくり教科書 第2巻）」丸善、2004（共著）
- ・ 「日本の風景計画」学芸出版社、2003（共著）

主な学術論文

- ・ 「『景観』の制度化と都市計画－緩やかに発展し続ける飛騨古川の街並み景観－」2004年度日本建築学会大会都市計画部門研究協議会資料
- ・ 「歴史的街並みにおける景観条例に基づくデザイン誘導の全国実態」日本建築学会技術報告集、第17号、2003
- ・ 「景観条例に基づくデザイン誘導制度の運用実態と課題－岐阜県古川町の歴史的景観地区を対象として－」日本建築学会計画系論文、No.551、2002
- ・ 「伝統的様式を継承した新たな町並み景観の形成過程と計画的課題－飛騨古川を対象として－」日本建築学会計画系論文集、No.531、2000

枠内に記入して下さい。別紙は無効といたします。